

2025年6月発行

関西大学大学院  
博士課程前期課程  
博士課程後期課程

# 入学試験問題集

---

心理学研究科

---

関西大学大学院

---

# 目 次

---

## 2025年度

### 博士課程前期課程

#### 一般入学試験

〔専門科目〕…心理学専攻	2
…心理臨床学専攻	5
〔外国語〕…心理学専攻	14

#### 外国人留学生入学試験

〔専門科目〕…心理学専攻	20
--------------	----

### 博士課程後期課程

#### 一般入学試験

〔外国語〕	22
-------	----

#### 外国人留学生入学試験

〔専門科目〕	31
--------	----

※ 出願のあった入試種別・科目のみ掲載しています。(欠席・免除等により受験のなかった科目を除きます。)

著作権の都合上、掲載していない入学試験問題については、窓口にて閲覧することができます。詳細は、関西大学大学院入試情報サイトでご確認ください。

2025年度



# 関西大学大学院入学試験問題

(10月募集)

一般

博士課程前期課程	心理学	研究科	心理学	専攻
----------	-----	-----	-----	----

科目	専門科目 (No.1)
----	-------------

【問題1】 下記の各文の内容について、誤っていれば×を、そうでない場合には○を記入してください。

1. 心理尺度について Cronbach の  $\alpha$  係数を求めることを妥当性係数の推定という
2. ゲシュタルト心理学は物事の知覚について、知覚要素ごとに細分化して分析する重要性を説いている
3. 後続の学習が先行する学習に対して影響を及ぼすことを学習の転移と呼ぶ
4. Spearman, C. は 1904 年に性格が「外向性」「神経質」「精神病質」の 3 因子から成ることを提唱した
5. Cannon, B. は感情についての James-Lange 説に対して、感情は視床下部からの神経興奮によって生じることを主張した (Cannon-Bard 説)
6. 感覚異常、知能障害や意識障害といった何らかの障害を有している場合に、対象を認知できない状態を失認という
7. 母平均値の 95% 信頼区間を構成する数式に、データから計算される具体的な値を代入して区間を構成したとき、当該の構成された区間は 95% の確率で母平均を含む
8. 正規母集団から抽出したデータを標準化した上で、当該データについて求めた標準偏差のことを標準誤差という
9. 自己と他者が、ある対象を同時に見ているとき、他者の発する情報を利用する行動や精神機能を社会的参照という
10. 対象に同一刺激を繰り返し与えた場合に、その刺激に対する反応性が疲労のみによって低下する現象を馴化といい、その疲労を取り除くことを脱馴化という



# 関西大学大学院入学試験問題

(10月募集)  
一般

博士課程前期課程	心理学	研究科	心理学	専攻
----------	-----	-----	-----	----

科目	専門科目 (No.2)
----	-------------

【問題2】 下記の語句から8つを選択し、それぞれについて説明してください。解答の順序は問いません。解答は語句番号と文章の対応関係が明確になるように記述してください。

語句：

- |                        |                                 |
|------------------------|---------------------------------|
| ① 効果量                  | ⑨ 感情の2要因説(Schachter & Singerの説) |
| ② ベイズの定理               | ⑩ 丁度可知差異                        |
| ③ 分散分析における交互作用         | ⑪ エピソード記憶                       |
| ④ オペラント条件づけ            | ⑫ 層化比例抽出法                       |
| ⑤ 原因帰属理論               | ⑬ 自己決定理論                        |
| ⑥ 記憶の二重貯蔵モデル (二重記憶モデル) | ⑭ 学習性無力感                        |
| ⑦ 内集団ひいき               | ⑮ 半構造化面接法                       |
| ⑧ 防衛機制                 | ⑯ 信頼性                           |

【問題3】 任意の統計的仮説検定の手続きについて、以下に示す語句をすべて用いて文章で説明してください。語句の使用順序は任意であり、使用回数に上限はありません。

語句：①有意確率 ②帰無仮説 ③有意水準 ④検定統計量 ⑤帰無分布 ⑥対立仮説

【問題4】 以下の各設問に解答してください。

- 独立な2群の平均値差について Student の  $t$  検定を利用する際の、統計的な前提条件(仮定)を説明してください。
- 統計的仮説検定を利用するとき、事前のサンプルサイズ的设计が必要となる理由について、表1を参考に「第1種の誤り」と「第2種の誤り」および「検定力」という3つの語を利用して説明してください。

表1		検定の結果	
		帰無仮説を保持	帰無仮説を棄却
真の状態	帰無仮説が正しい	正しい判断	誤った判断 (第1種の誤り)
	対立仮説が正しい	誤った判断 (第2種の誤り)	正しい判断 (検定力)

以上

# M

## 関西大学大学院入学試験問題

(2月募集)  
一般

博士課程前期課程

心理学

研究科

心理学

専攻

科目

専門科目

### 【問題 1】

以下の事項から5つを選び、それぞれについて、その要点を解説せよ。その際に、解答する事項の番号とその用語を記載してから、各2～5行程度で解説を書くこと。

- (1) 性格における特性論 (Trait Theory)
- (2) 感情制御における認知的再評価
- (3) レジリエンス
- (4) マインドフルネス認知療法
- (5) 内集団バイアス
- (6) ダークトライアド
- (7) アレキシサイミア
- (8) シャクターとジンガーの感情の二要因説
- (9) 研究デザインにおけるカウンター・バランス

【問題 2】 以下の全ての問いについて、それぞれ1～3行程度で解答すること。

- (1) 疑似相関 (spurious correlation) とは何か、説明せよ。
- (2) 因子分析とは何か。どのような目的で、何を行う分析であるか、説明せよ。
- (3) 95%信頼区間とは何か、平均値のそれを例にして説明せよ。

【問題 3】 以下の架空の研究例を読み、その研究デザイン上の問題点と、その問題の改善策を、それぞれ簡潔に記述せよ。(問題点や解決策は1つとは限らない。)

本研究は、「チョコレートを摂取すると創造性が促進される」という仮説を検証した。20名の参加者に、チョコレートを摂取する前と後で創造性課題を行ってもらった。その結果、チョコレートの摂取前よりも摂取後のほうが、創造性課題の成績が有意に高くなった。したがって仮説は支持され、チョコレート摂取が創造性を促進する効果が示唆された。

以上

2025年度 関西大学大学院 心理学研究科  
心理臨床学専攻

博士課程前期課程 一般入学試験問題

専門科目

(注意)

- (1) この問題冊子は8ページです。
- (2) 解答は別配付の答案用紙に記入してください。

**I. ある心理療法がある症状に対して有効かを検証するため、臨床試験を行うことにした。その際、以下の文章が、それぞれ望ましいか／正しいかについて、望ましい／正しい場合は○、望ましくない／正しくない場合は×を記入せよ。**

- ①研究協力者には自由意思に基づいて臨床試験に参加してもらう必要があるため、心理療法を受けたい人には介入群として心理療法を受けてもらい、協力する意思はあるが心理療法は受けたくない人には対象群になってもらうことにした。そして、介入群が心理療法を受ける前と後の2時点で、両群ともに症状を測定し、両群間で症状の変化に差があるかを比較することにした。
- ②統計学的には、データ数が多ければ多いほど分析の精度が向上することから、研究協力者の数に上限は設けず、可能な限り多くの研究協力者を集める方針にした。
- ③症状は構造化面接で測定することにした。そこで、研究協力者との信頼関係を迅速かつ効果的に築くためにも、構造化面接の担当者と心理療法の担当者は同一人物になるようにした。
- ④データの分析方法として、群（介入群と対象群）を被験者間要因、時点（介入前と介入後）を被験者内要因、症状を従属変数とする二要因混合計画の分散分析や、介入前の症状を共変量、介入後の症状を従属変数として両群を比較する共分散分析が候補となった。
- ⑤分析の結果から、症状に対する心理療法の効果量は小さかったものの、有意差は0.1%水準で認められた。そのため、この心理療法の効果は大きいと結論づけた。

**II. 以下にある心理アセスメントに関する文章が、それぞれ望ましいか／正しいかについて、望ましい／正しい場合は○、望ましくない／正しくない場合は×を記入せよ。**

- ⑥公刊されている心理検査は、既に信頼性と妥当性の検証が十分に行われているため、そこで得られた情報や結果はクライアントの普遍的な状態像を示す客観的資料となる。そのため、心理検査の結果は、見立て（ケースフォーミュレーション）における中核的な情報として扱われる。
- ⑦見立て（ケースフォーミュレーション）は初期段階から行われるが、それは面接を進めていく中で随時修正および更新していくものである。その際には、心理職側だけの見解や解釈だけに頼らず、クライアントとの共同作業を通じて行うことが望ましい。
- ⑧面接場面では、面接を担当する心理職の在り方や、クライアントと心理職の2者間で生じる相互作用等により、クライアントの在り方や反応も大きく変化し得る。心理職はそのことを十分に理解した上で、自身がどのようにクライアントに影響しているか、クライアントとのやり取りの中で心理職側に生じる主観的体験はどのようなものかについても、ありのままに観察できることが重要である。これは、H.S. Sullivanが「関与しながらの観察」として重要視したものである。
- ⑨MMPIの形式的な特徴としては、質問項目数が550項目と非常に多く、それに対して主に4件法で回答を求めることである。また、質問項目は理論に基づいて構成されたものではなく、健常者と患者とで有意に差があった項目で構成されている。内容的な特徴としては、4つの妥当性尺度を有しており、12の臨床尺度の得点を出すことに加えて、それに基づいて描かれるプロフィールからパーソナリティを解釈していく。

- ⑩本人が自覚しきれていないクライアントのパーソナリティや在り方を知る方法として、投影法に基づく心理検査が挙げられる。例えば、ロールシャッハテストでは、10枚の無彩色および彩色図版を用いて、それらが何に見えるかを問う。分析時には、単に何に見えたかよりも、どのようにそう見えたかという知覚や統覚の仕方に着目する。P-Fスタディでは、24枚の欲求不満場面を提示し、片方の人の発言に対して、もう一方の人ならそれにどう答えると思うかを回答してもらう。TATは、1枚ずつ図版を提示して物語を作ってもらうが、統一された実施法や解釈法は未確立であり、用いられる図版の枚数や順番なども様々な方式が提案されている。
- ⑪ウェクスラー式知能検査では、偏差IQを算出する。そこで算出されるIQは、全般的な知能を表す全検査IQだけでない。例えば、16歳から90歳を対象とするWAIS-IVでは、各下位検査を組み合わせて、言語理解、知覚推理、ワーキングメモリー、処理速度という4つの指標得点も算出される。なお、児童用としてWISC、幼児用としてWPPSIが用意されている。一方、田中ビネー式知能検査では、14歳以上の場合は偏差IQを算出するが、2歳から13歳までの場合は精神年齢と生活年齢を用いてIQが算出される。田中ビネー式知能検査は、幼児から高齢者まで幅広く対応が可能である。
- ⑫心理検査にはたくさんの種類があるが、検査ごとに測定できる内容や水準が異なっている。そこで、クライアントをより適切に理解するために、複数の心理検査を組み合わせる場合がある。これをテストバッテリーという。テストバッテリーを組む際は、CIの細部まで正確に理解することが重要であるため、測定する内容や水準は類似したものを選び、その間で生じた違いに注目することが多い。
- ⑬心理検査を実施した後には、依頼元の医師、実際に検査を受けた本人、その保護者など、必要に応じて複数人に結果をフィードバックする必要がある。誰に対するフィードバックかに応じて、用意する資料や表現の仕方も工夫する必要がある。ただし、いずれの場合でも、検査者の主観的な印象や評価は極力減らす必要がある。具体的には、検査内容には直接的に関係しないところでの被検者の非言語情報や、電話申込時の受け答えや受付での言動などの検査時間外の情報は、フィードバックを作成する際には参照しない。あくまでもその検査に直接かかわる情報源に限定して、フィードバックを作成することが求められる。
- ⑭面接法には、構造化面接、半構造化面接、非構造化面接の3つがある。インテーク面接は、主訴や問題の経過、家族構成や生育歴など、一定の聞くべき事項は定めつつ、聞き取る順番を柔軟に入れ替えたり、追加の質問などもできる半構造化面接がよく採用される。精神障害の診断に際しては、M.I.N.IやSCIDなどの構造化面接がよく用いられる。治療を目的とした心理面接では、患者自身の自由で主体的な語りを促すことが重要であり、非構造化面接を用いることが多い。
- ⑮自殺対策は我が国における喫緊の課題であり、1998年から2011年までは年間の自殺者が3万人を超えていた。2006年に制定された自殺対策基本法などで様々な対策が講じられて、2012年から自殺者数は減少傾向であるものの、依然として年間の自殺者は2万人を超えている。また、減少傾向の中であったが、コロナ禍により自殺者数は再び上昇した。特に、若い男性の自殺率の上昇が顕著であった。自殺対策には、著名人の自殺に関する報道によって自殺者が増えるというウェルテル効果への対応も重要である。

Ⅲ. 以下にある心理療法・カウンセリングに関する文章が、それぞれ望ましいか／正しいかについて、望ましい／正しい場合は○、望ましくない／正しくない場合は×を記入せよ。

- ⑯カウンセリングにおいて、クライアントの沈黙には様々な意味があり、カウンセラーはその状況を適切に理解して対応する必要がある。例えば、長く来談しているクライアントが会話の途中で沈黙した場合は、カウンセラーの不適切な言動がクライアントの気分を害した可能性が高く、支援者側から失礼がなかったかを早急に確認し、もしあれば速やかに謝罪し、話を続けるように促すことが望ましい。また、クライアントの発言に対し、支援者がテンポよく応答し続けなければ、クライアントがきまづさを感じる可能性が高まる。そのため、基本的にカウンセラーは、間を空けずに発言を続けることが望ましい。
- ⑰日本で生まれた心理療法の一つに森田療法がある。これは、森田正馬が創始し、不安症や心気症などの神経症症状を中心に実践が開始された。精神交互作用や思想の矛盾によるとらわれから脱出するため、クライアントには絶対臥褥期、軽作業期、重作業期、生活訓練期の4期を段階的に過ごしてもらう。
- ⑱どのような心理療法をクライアントに提供するかは、エビデンスに基づいて選択することが重要である。エビデンスにも様々なものがあるが、無作為化比較試験や、それらのデータを統合して解析するメタ分析の結果が強いエビデンスである。一方、事例研究などデータが少数であるものはバイアスが入りやすく、弱いエビデンスとされる。そのため、複数のエビデンスの間で矛盾や相違がある場合は、最も強いエビデンスに従うようにする。これがエビデンスベースアプローチの基本的な考えである。
- ⑲C.R.Rogers は、共感的理解、無条件の肯定的関心、そして自己一致をカウンセラーの基本的態度とした。この3つの基本的態度は、6つあるパーソナリティ変化の必要十分条件に含まれるものであるが、残り3つは、クライアントとカウンセラーが心理的接触を持っていること、クライアントが不一致／傷つきやすい／不安の状態であること、そしてカウンセラー側の共感的理解や無条件の肯定的関心が最低限はクライアントに伝わっていることである。つまり、面接場面ではカウンセラーの基本的態度をただ実践するだけでなく、それがクライアントに伝わっているかどうかよく吟味する必要がある。
- ⑳以下は、カウンセラー (Co) とクライアント (Cl) のやり取りの一部である。このカウンセラーが行っている心理療法に最も近いのは、認知行動療法である。
- Cl: 最近、眠れなくて困っています。
- Co: 眠れなくてお困りなんですね。それはお辛いですね。
- Cl: そうなんです。もうどうしたらいいのか…。
- Co: 眠れない時のことを具体的に教えていただきたいのですが、直近で眠れなくて困ったのはいつでしょうか？
- Cl: 昨日の夜も眠れませんでした。
- Co: 昨晩も眠れなかったんですね。その時は、どこでどんな風に過ごされていませんか？
- Cl: ベッドに入っていたんですが、全く寝付けなくて。一時間くらい粘りましたが…。
- Co: なるほど。その時には、どんなことが頭に浮かんでいましたか？

Cl: 早く寝なきゃ、早く寝なきゃ、と考えていましたね。

Co: そうだったんですね。早く寝なきゃと考えている時って、どんなお気持ちになっていましたか？

Cl: とにかく焦っていました。早く寝ないとまずいぞと思って。

Co: 焦りを強く感じてたんですね。ちなみに、そのような状況で、身体の反応はどんな感じでしたか？

Cl: 心臓もなんだかドキドキして、変な緊張感もあり、嫌な汗をじわーっとかいていました。

Co: とても嫌な感じですね。一時間くらい粘ったと仰っていましたが、その後はどうされたんですか？

Cl: いったんベッドから出て、少し落ち着こうと思って、お茶を飲みにリビングに行きました。

#### IV. 次の英文を読み、各問に回答せよ。

「著作権許諾の関係上、問題の文章は掲載しておりません。」

「著作権許諾の関係上、問題の文章は掲載しておりません。」

「著作権許諾の関係上、問題の文章は掲載しておりません。」

問1：【 ㉑ 】 から 【 ㉔ 】 にある下線部の英単語に対する日本語訳を以下から選択せよ。

- |                |         |
|----------------|---------|
| 1. 解釈学         | 6. 還元する |
| 2. 解釈する        | 7. 分析する |
| 3. 表出する (言い表す) | 8. 象徴   |
| 4. 経験主義        | 9. 現象学  |
| 5. 暗号          | 10. 映像  |

問2：【 ㉕ 】 から 【 ㉘ 】 にある下線部の英単語に対する日本語訳を以下から選択せよ。

- |         |          |
|---------|----------|
| 1. 考案した | 6. 近代人   |
| 2. 機能した | 7. 思考した  |
| 3. 同時代人 | 8. 起動した  |
| 4. 連想   | 9. 抵抗した  |
| 5. 関係   | 10. 自由連想 |

問3：【 ㉙ 】 から 【 ㉚ 】 にある下線部の英単語に対する日本語訳を以下から選択せよ。

- |          |          |
|----------|----------|
| 1. 登場人物  | 6. 誇張する  |
| 2. 機能する  | 7. 言葉にする |
| 3. 解説する  | 8. 起動する  |
| 4. 性格    | 9. 暗号化する |
| 5. 視覚化する | 10. 元型   |

問4：【 ㉛ 】 から 【 ㉝ 】 の空欄に入る適切な専門用語または人名を以下から選択せよ。

- |                                 |                     |
|---------------------------------|---------------------|
| 1. Sigmund Freud                | 6. Psychosynthesis  |
| 2. Carl Rogers                  | 7. Otto Rank        |
| 3. Interpersonal Psychoanalysis | 8. Depth Psychology |
| 4. Humanistic Psychology        | 9. Carl Jung        |
| 5. Classical Psychoanalysis     | 10. Fritz Perls     |

問5：【 ㉞ 】 から 【 ㉟ 】 の空欄に入る適切な専門用語を以下から選択せよ。

- |                                 |                         |
|---------------------------------|-------------------------|
| 1. dissociation                 | 6. Psychosynthesis      |
| 2. projection                   | 7. regression           |
| 3. Interpersonal Psychoanalysis | 8. Depth Psychology     |
| 4. Humanistic Psychology        | 9. Existential Analysis |
| 5. Classical Psychoanalysis     | 10. experiencing        |

問6【㊸】：上記Ⅳの英文の正しい要約を、以下から選択せよ。

1. Eugene Gendlin's (1926-2017) book *Let Your Body Interpret Your Dreams* advocates for dismissing dream analysis entirely, arguing that dreams are random neural firings with no inherent meaning. The book emphasizes a purely scientific perspective, suggesting that body awareness and 'felt sense' are irrelevant to interpreting dreams. Instead, Gendlin outlines various statistical methods and neurobiological theories to explain why dreams should not be considered in psychotherapeutic contexts, urging readers to rely solely on measurable, empirical data. This approach essentially discourages any exploration of personal experiences or associations related to dreams.
2. Eugene Gendlin (1926-2017), an American philosopher and psychotherapist, wrote the book *Let Your Body Interpret Your Dreams* (1986), featuring how dreamers interpret their own dreams through the 'felt sense'—a pre-conceptual sense of meaning felt in the body. Gendlin's philosophy is seen as 'new phenomenology,' valuing personal experience over imposed interpretations. His method includes choosing from 16 questions to explore dreams through different avenues including associations, visualization, and the resemblance to one's life. Gendlin's approach encourages dreamers to derive unique understandings with the help of a listener, without external interpretation, a process he later termed 'Body Dreamwork.'
3. Eugene Gendlin (1926-2017), an influential American philosopher and psychotherapist, authored *Let Your Body Interpret Your Dreams*, articulating about the possibility of extracting the meaning of dreams via the 'felt sense'—a bodily awareness of the dream's significance. His unique philosophy emphasizes psychoanalytic interpretations over personal experience. Gendlin uses 16 questions to help therapists explore and understand their clients' dreams through such processes as free associations, story elements, and bodily analogies. His approach, later called 'Body Dreamwork,' involves the therapist as an interpreter, emphasizing the role of the therapist in understanding the dreamer's bodily felt sense.
4. Eugene Gendlin (1926-2017) a American philosopher and psychotherapist has written a book entitled *Let Your Body Interpret Your Dreams*. It introduces a unique approach to understanding dreams by focusing on the 'felt sense,' which is a bodily-felt sense of meaning. His method is grounded in his own approach to phenomenological philosophy, which some philosophers refer to as "new phenomenology". Gendlin employs 16 guiding questions that help individuals explore their dreams. All 16 questions are important and should be utilized with every dream. This practice later came to be known as 'Body Dreamwork.'

以上

# M

## 関西大学大学院入学試験問題

(2月募集)  
一般

博士課程前期課程

心理学

研究科

心理学

専攻

科目

英語 (No. 1)

### 【問題1】

これは「Guidelines for Psychological Practice With Transgender and Gender Nonconforming People」という文章の一部です。文章を読み、問に日本語で答えてください。

「著作権許諾の関係上、問題の文章は掲載しておりません。」

# M

## 関西大学大学院入学試験問題

(2月募集)  
一般

博士課程前期課程

心理学

研究科

心理学

専攻

科目

英語 (No. 2)

「著作権許諾の関係上、問題の文章は掲載しておりません。」

※TGNC= transgender and gender nonconforming

問1：下線部①を日本語に訳してください。

問2：下線部②で提示されている問題点について心理学の研究を行う上で取りうる改善策として具体的にどのような策が考えられますか。日本語で答えてください。

問3：下線部③を日本語に訳してください。

問4：この Guideline A に相応しいタイトルを日本語でつけてください。

問5：本文に書かれている 1960 年代後半から 1990 年代初頭にかけての医療的介入の特徴とその理想的な結果について説明してください。

(出典：American Psychological Association (2015). Guidelines for Psychological Practice With Transgender and Gender Nonconforming People. *American Psychologist*, 70(9), 832-864.)

# M

## 関西大学大学院入学試験問題

(2月募集)  
一般

博士課程前期課程

心理学

研究科

心理学

専攻

科目

英語 (No. 3)

【問題2】 この文章はある本の一部です。全文を日本語に訳してください。

「著作権許諾の関係上、問題の文章は掲載しておりません。」

(出典 : Demuth, C., & Mey, G., (2015) *Qualitative Methodology in Developmental Psychology*,  
In James D. Wright (editor-in-chief), *International Encyclopedia of the Social & Behavioral  
Sciences, 2nd edition, Vol 19*. Oxford: Elsevier. pp. 668-675. )

以上



# 関西大学大学院入学試験問題

(10月募集)  
一般

博士課程前期課程	心理学	研究科	心理学	専攻
----------	-----	-----	-----	----

科目	英語 (No.1)
----	-----------

英文【1】【2】【3】を読み、すべての問に答えなさい。なお、特別な指示がない限り、いずれの問も英文の内容を正しく理解できていることが伝われば良いので、一字一句直訳する必要はありません。

- 【1】 以下の英文は、 $\phi_K$ という変数間の関連を表す指標を新たに提案した論文の Abstract である。文章を読み、問1～問3に答えなさい。

「著作権許諾の関係上、問題の文章は掲載しておりません。」

(出典：Baak, M., Koopman, R., Snoek, H., & Klous, S. (2020). A new correlation coefficient between categorical, ordinal and interval variables with Pearson characteristics. *Computational Statistics & Data Analysis*, 152, 107043.)

- 問1 下線部①は一般的にどのような用語が用いられているか答えなさい。
- 問2 下線部②は、 $\phi_K$ の特徴に言及しているが、どのような特徴があると述べられているか説明しなさい (下線部の和訳でも良い)。
- 問3 下線部③に関して、これはこの指標の有用な特徴と考えられるが、その理由を簡単に説明しなさい。



# 関西大学大学院入学試験問題

(10月募集)  
一般

博士課程前期課程	心理学	研究科	心理学	専攻
----------	-----	-----	-----	----

科目	英語 (No.2)
----	-----------

- 【2】 以下の英文は、“Psychological Factors Associated with Online Friendship in Adolescents: A Systematic Literature Review.”と題された論文の Abstract (一部略) である。文章を読み、問4および問5に答えなさい。

「著作権許諾の関係上、問題の文章は掲載しておりません。」

(出典: Gültekin, İ., Tapan, Ş., & Öztürk, N. (2024). Psychological Factors Associated with Online Friendship in Adolescents: A Systematic Literature Review. *Cumhuriyet International Journal of Education*, 13(2).)

問4 下線部①を和訳しなさい。

問5 下線部②を和訳しなさい。なお、( ) 内に関しては、おおよその意味が伝われば、テクニカル・タームになっていなくても構いません。



# 関西大学大学院入学試験問題

(10月募集)  
一般

博士課程前期課程	心理学	研究科	心理学	専攻
----------	-----	-----	-----	----

科目	英語 (No.3)
----	-----------

- 【3】 以下の英文は、“Self-compassion and coping: A meta-analysis.”と題された論文の Abstract の Objectives と Conclusions の抜粋である。文章を読み、問6および問7に答えなさい。なお、“Self-compassion”の訳はセルフ・コンパッションで構いません。

「著作権許諾の関係上、問題の文章は掲載しておりません。」

(出典：Ewert, C., Vater, A., & Schröder-Abé, M. (2021). Self-compassion and coping: A meta-analysis. *Mindfulness*, 12, 1063-1077.)

- 問6 Objectives に関して、どのようなことが述べられているか説明しなさい。全訳でなくて構いません。
- 問7 Conclusions を和訳しなさい。

以上



# 関西大学大学院入学試験問題

(10月募集)

留学生

博士課程前期課程	心理学	研究科	心理学	専攻
----------	-----	-----	-----	----

科目	専門科目 (No.1)
----	-------------

【問題1】 下記の各文の内容について、誤っていれば×を、そうでない場合には○を記入してください。

1. 心理尺度について Cronbach の  $\alpha$  係数を求めることを妥当性係数の推定という
2. ゲシュタルト心理学は物事の知覚について、知覚要素ごとに細分化して分析する重要性を説いている
3. 後続の学習が先行する学習に対して影響を及ぼすことを学習の転移と呼ぶ
4. Spearman, C. は 1904 年に性格が「外向性」「神経質」「精神病質」の 3 因子から成ることを提唱した
5. Cannon, B. は感情についての James-Lange 説に対して、感情は視床下部からの神経興奮によって生じることを主張した (Cannon-Bard 説)
6. 感覚異常、知能障害や意識障害といった何らかの障害を有している場合に、対象を認知できない状態を失認という
7. 母平均値の 95%信頼区間を構成する数式に、データから計算される具体的な値を代入して区間を構成したとき、当該の構成された区間は 95%の確率で母平均を含む
8. 正規母集団から抽出したデータを標準化した上で、当該データについて求めた標準偏差のことを標準誤差という
9. 自己と他者が、ある対象を同時に見ているとき、他者の発する情報を利用する行動や精神機能を社会的参照という
10. 対象に同一刺激を繰り返し与えた場合に、その刺激に対する反応性が疲労のみによって低下する現象を馴化といい、その疲労を取り除くことを脱馴化という



# 関西大学大学院入学試験問題

(10月募集)  
留学生

博士課程前期課程	心理学	研究科	心理学	専攻
----------	-----	-----	-----	----

科目	専門科目 (No.2)
----	-------------

【問題2】 下記の語句から10個選択し、それぞれについて説明してください。解答の順序は問いません。解答は語句番号と文章の対応関係が明確になるように記述してください。

語句：

- |                        |                                 |
|------------------------|---------------------------------|
| ① 効果量                  | ⑨ 感情の2要因説(Schachter & Singerの説) |
| ② ベイズの定理               | ⑩ 丁度可知差異                        |
| ③ 分散分析における交互作用         | ⑪ エピソード記憶                       |
| ④ オペラント条件づけ            | ⑫ 層化比例抽出法                       |
| ⑤ 原因帰属理論               | ⑬ 自己決定理論                        |
| ⑥ 記憶の二重貯蔵モデル (二重記憶モデル) | ⑭ 学習性無力感                        |
| ⑦ 内集団ひいき               | ⑮ 半構造化面接法                       |
| ⑧ 防衛機制                 | ⑯ 信頼性                           |

【問題3】 任意の統計的仮説検定の手続きについて、以下に示す語句をすべて用いて文章で説明してください。語句の使用順序は任意であり、使用回数に上限はありません。

語句：①有意確率 ②帰無仮説 ③有意水準 ④検定統計量 ⑤帰無分布 ⑥対立仮説

【問題4】 以下の各設問に解答してください。

- 独立な2群の平均値差について Student の  $t$  検定を利用する際の、統計的な前提条件(仮定)を説明してください。
- 統計的仮説検定を利用するとき、事前のサンプルサイズの設計が必要となる理由について、表1を参考に「第1種の誤り」と「第2種の誤り」および「検定力」という3つの語を利用して説明してください。

表1		検定の結果	
		帰無仮説を保持	帰無仮説を棄却
真の状態	帰無仮説が正しい	正しい判断	誤った判断 (第1種の誤り)
	対立仮説が正しい	誤った判断 (第2種の誤り)	正しい判断 (検定力)

以上

# D

## 関西大学大学院入学試験問題

(10月募集)

一般

博士課程後期課程	心理学	研究科	心理学	専攻
----------	-----	-----	-----	----

科目	英語 (No.1)
----	-----------

英文【1】【2】を読み、すべての問に答えなさい。なお、特別な指示がない限り、いずれの問も英文の内容を正しく理解できていることが伝われば良いので、一字一句直訳する必要はありません。

- 【1】 下記英文は、“Health anxiety and illness-related fears across diverse chronic illnesses: A systematic review on conceptualization, measurement, prevalence, course, and correlates.”と題された論文の Introduction の一部である。以下の問 1～問 5 に答えなさい。

「著作権許諾の関係上、問題の文章は掲載しておりません。」

# D

## 関西大学大学院入学試験問題

(10月募集)  
一般

博士課程後期課程	心理学	研究科	心理学	専攻
----------	-----	-----	-----	----

科目	英語 (No.2)
----	-----------

「著作権許諾の関係上、問題の文章は掲載しておりません。」

# D

## 関西大学大学院入学試験問題

(10月募集)

一般

博士課程後期課程

心理学

研究科

心理学

専攻

科目

英語 (No.3)

「著作権許諾の関係上、問題の文章は掲載しておりません。」

(出典：Lebel, S., Mutsaers, B., Tomei, C., Leclair, C. S., Jones, G., Petricone-Westwood, D., ... & Dinkel, A. (2020). Health anxiety and illness-related fears across diverse chronic illnesses: A systematic review on conceptualization, measurement, prevalence, course, and correlates. *Plos one*, 15(7), e0234124.)

- 問1 下線部①を和訳しなさい。
- 問2 下線部②の disease specific とはどのような意味か説明しなさい。
- 問3 下線部③を和訳しなさい。
- 問4 下線部④では、“health anxiety”と“hypochondriasis”に関して、DSM-5 において大きな変更が加えられたと述べられ、続く段落では DSM-4 と DSM-5 での取り扱いの変更について述べられている。どのような変更がなされたのか説明しなさい。
- 問5 下線部⑤以降では、上記の DSM-5 の変更には、どのような理由があると述べられているか説明しなさい。また、それによってどのような危険性があると述べられているか説明しなさい。

# D

## 関西大学大学院入学試験問題

(10月募集)

一般

博士課程後期課程

心理学

研究科

心理学

専攻

科目

英語 (No.4)

- 【2】 次の英文は、“How to Improve the Validity and Reliability of a Case Study Approach?”と題された論文の Abstract である。以下の問 6~9 に答えなさい。

「著作権許諾の関係上、問題の文章は掲載しておりません。」

(出典：Quintão, C., Andrade, P., & Almeida, F. (2020). How to improve the validity and reliability of a case study approach?. *Journal of Interdisciplinary Studies in Education*, 9(2), 264-275.)

- 問6 下線部①は、一般的にどのように訳されるか答えなさい。  
問7 下線部②は、一般的にどのように訳されるか答えなさい。  
問8 下線部③は、どのような意味で用いられているか説明しなさい。  
問9 下線部④を和訳しなさい。

以上

# D

## 関西大学大学院入学試験問題

(2月募集)  
一般

博士課程後期課程

心理学

研究科

心理学

専攻

科目

英語 (No. 1)

【問題 1】以下の文章を読み、日本語で解答せよ。

「著作権許諾の関係上、問題の文章は掲載しておりません。」

# D

## 関西大学大学院入学試験問題

(2月募集)  
一般

博士課程後期課程	心理学	研究科	心理学	専攻
----------	-----	-----	-----	----

科目	英語 (No. 2)
----	------------

「著作権許諾の関係上、問題の文章は掲載しておりません。」

出典：Tyler, T. R. (2023). The organizational underpinnings of social justice theory development. *Social Justice Research*, 36, 371–384. <https://doi.org/10.1007/s11211-023-00414-w>

### 問題 1-1

Thibaut and Walker (1975) の研究と Leventhal (1980) の研究について、本文中で紹介されている内容を要約して述べよ。

### 問題 1-2

下線部①“force is not the only framework through which to manage communities”に関して、力以外に共同体運営に必要なことは何かについて本文中に述べられていることを要約して述べよ。

### 問題 1-3

下線部② “Legitimacy-based law has been widely influential in scholarship about legal institutions.”について、研究が社会に影響を及ぼした例として本文中で述べられているものを要約して述べよ。

# D

## 関西大学大学院入学試験問題

(2月募集)  
一般

博士課程後期課程

心理学

研究科

心理学

専攻

科目

英語 (No. 3)

【問題 2】 以下の抄録の英文の、全文を日本語訳せよ。

「著作権許諾の関係上、問題の文章は掲載しておりません。」

出典：Rotenberg, K. J., MacDonald-Taylor, B., & Holland, R. (2024). Trusting others who vary in consistency between their personal standards and behavior: Differences by age, gender, and honesty trust beliefs. *Social Development*, 33, e12717. <https://doi.org/10.1111/sode.12717>

【問題 3】 以下の文章を読み、日本語で解答せよ。

「著作権許諾の関係上、問題の文章は掲載しておりません。」

# D

## 関西大学大学院入学試験問題

(2月募集)  
一般

博士課程後期課程	心理学	研究科	心理学	専攻
----------	-----	-----	-----	----

科目	英語 (No. 4)
----	------------

「著作権許諾の関係上、問題の文章は掲載しておりません。」

# D

## 関西大学大学院入学試験問題

(2月募集)  
一般

博士課程後期課程

心理学

研究科

心理学

専攻

科目

英語 (No. 5)

「著作権許諾の関係上、問題の文章は掲載しておりません。」

出典：Faul, L., & LaBar, K. S. (2023). Mood-congruent memory revisited. *Psychological Review*, 130, 1421–1456. <https://doi.org/10.1037/rev0000394>

### 問題 3-1

上記文中における気分(mood)の、定義と特性について本文中で述べられている内容を要約して述べよ。

### 問題 3-2

本文中で述べられている、気分と情動(emotion)の関係について要約して述べよ。

### 問題 3-3

本文中で述べられている、情動と気分のそれぞれの測定方法と、その違いについて要約して述べよ。

以上

# D

## 関西大学大学院入学試験問題

(2月募集)  
留学生

博士課程後期課程

心理学

研究科

心理学

専攻

科目

専門科目

### 【問題 1】

以下の事項から5つを選び、それぞれについて、その要点を解説せよ。その際に、解答する事項の番号とその用語を記載してから、各2～5行程度で解説を書くこと。

- (1) PTSD
- (2) 投影法 (projective Methods)
- (3) レジリエンス (resilience)
- (4) マインドフルネス認知療法 (mindfulness-based cognitive therapy)
- (5) 内集団バイアス (ingroup bias)
- (6) 行動的免疫系 (behavioral immune system)
- (7) アレキシサイミア (alexithymia)
- (8) シャクターとジンガー (Schachter & Singer) の感情の二要因説 (Two-Factor Theory of Emotion)
- (9) 二重盲検法 (double-blind experiment)

【問題 2】以下の全ての問いについて、それぞれ1～3行程度で解答すること。

- (1) 相関関係 (correlation) と因果関係 (causation) の違いを説明せよ。
- (2) 標準偏差 (standard deviation) と標準誤差 (standard error) はそれぞれどのような値か、両者の違いが明確になるように簡潔に説明せよ。
- (3) 多重検定 (multiple testing または multiple comparisons) にはどのような問題があるかを説明せよ。また、どのような解決法があるかを説明せよ。
- (4) 相関分析を行ったところ、相関係数が  $-0.03$  であり、有意確率 (p-value) が  $.96$  であった。この結果から判断されることは次のうちどれであるか。次の3つの選択肢から1つを選び、その番号を記せ。(① 有意な正の相関がみられる。 ② 有意な負の相関がみられる。 ③ 有意な相関はみられない。)
- (5) 相関分析は、2変数の間に相関がないという仮説を検定する。それでは、t 検定 (特に、Student's t-test) は、どのような統計的仮説を検定するものか、簡潔に述べよ。

【問題 3】以下の架空の研究例を読み、その研究デザイン上の問題点と、その問題の改善策を、それぞれ簡潔に記述せよ。(問題点や解決策は1つとは限らない。)

本研究は、「Mozart の音楽を聞くと創造性が向上する」という仮説を検討した。20名の参加者を2群に分け、実験群の参加者10名にはMozartの音楽を聞きながら創造性課題を行ってもらい、比較群の参加者10名には何も聞かずに創造性課題を行ってもらった。その結果、実験群の方が比較群よりも、創造性課題の成績が有意に高いというデータが得られた。従って、仮説は指示され、Mozartの音楽を聞くと創造性が向上することが示唆された。

以上

## 関西大学大学院

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35

TEL 06-6368-1121 (大代表)